

総合計画に対する質疑応答について

	質問内容	当日の回答	回答者	補足、現在の状況・今後の対応等	担当課
1	<p>3月1日より陸上競技場の個人利用が有料となり100円となった。かなりのハードルになる。また、色々なサークル等で活動している人から公民館の値上げは困るという声もたくさん聞く。値上げにより、どの程度の財源を見込んでいるのか、文化会館の駐車場の有料化も検討されているという噂だが、本当か。</p>	<p>少子高齢化を迎え、社会保障費がかかる、また、生産年齢人口の減少により税収が減少する等々の問題を背景として、10年前に公民館を有料化しました。現状、維持管理費が概ね14億円ほどかかり、そのうち20%の約3億円を使用料で賄い、その他の8割は税金を投入しています。今後このままの使用料で維持していくのがいいのかということを市民の皆さんに考えてほしいということで、基本的な改正をしたい旨の方針を示しました。</p> <p>使用料の改正について、色々意見を伺った上で、具体的な改定をしていきたいというのが現状なので、ぜひ色々な意見をいただきたい。使用料の見直しをした場合、約1億円増収になるのではないかとというのが現在の見込みとなっています。</p> <p>陸上競技場については、全天候型の競技場として改修しました。それを契機とし、有料化させていただきました。</p>	政策部長	当日の回答に同じ。	公共施設再配置推進課

地域の課題に対する質疑応答について

	質問内容	当日の回答	回答者	補足、現在の状況・今後の対応等	担当課
2	複合施設に関する進捗状況について	<p>西中学校等複合化施設整備運営事業については、公共施設再配置計画のシンボル事業の1つとして、施設の複合化、民間活力の導入を目指し、設計・施工、その後の維持管理・運営を一括発注するDBO方式により、事業を進めてきました。その結果、公募による事業者1者(6事業者による企業共同体)の参加表明があり、本年5月21日に事業提案書の提出を受ける予定でしたが、当該事業者から同月1日に応募辞退届が提出されました。参加事業者応募辞退の原因としては、現在の事業を取り巻く社会経済環境、東京オリンピックや東日本大震災の復興需要の増大などによって、建築工事費や労務費が高騰するとともに、建設労働者が不足し安定的な人材の確保が困難な状況となっていることから、予定価格内での計画検討及び収支見込ができず、応募辞退につながったものと考えています。今後の対応についてですが、応募辞退の要因や社会経済環境等を踏まえた上で、事業内容、事業手法、スケジュールさらには財政面など全般にわたる見直しを行い、引き続き老朽化する教育施設の複合化事業を進めてまいります。</p>	教育総務課長	<p>応募辞退を受け、公設民営方式から公式公営方式による整備手法の変更、消防西分署と学校体育館等を分離整備するなどの事業の見直しを行い、西中学校体育館の老朽化に伴う建て替えを基本として、公民館の持つ生涯学習や地域コミュニティ等の機能を複合化した多機能型体育館を平成28年度に整備構想を取りまとめ、総合計画後期基本計画の期間内に整備する予定です。</p>	教育総務課

3	<p>心配なのは複合化による効果がどの程度あるのか。遅れてしまうという懸念はないのか。</p>	<p>当初の予定では、全体の完成は、平成30年8月でした。現在は、スケジュール等々含め、全体の見直しを行っています。どうやって事業を進めていくかにより完成の時期は変わってきますが、いずれにせよ、早目に方向性を示し、事業の推進を図っていきたいと考えております。</p>	<p>教育総務課長</p>	<p>2の回答に同じ。</p>	<p>教育総務課</p>
4	<p>このシンボル事業は注目されている。マスコミも注目している。各自治体に情報公開し、アドバイスもしている。5月の結果でギブアップしたということか。方向性について、どのくらいを目途に決めるのか。</p>	<p>ギブアップはしておりません。建物の老朽化、新東名の整備に合わせて更新していく必要があります。時期については、本年の12月に事業者の決定をしていく予定でしたが、今後の方向性もそれに合わせて決めていく予定です。</p>	<p>教育総務課長</p>	<p>2の回答に同じ。</p>	<p>教育総務課</p>

当日の質疑応答について

	質問内容	当日の回答	回答者	補足、現在の状況・今後の対応等	担当課
5	<p>丹沢の登山マップについてだが、無料で手に入るものは観光協会のものだと思うが、内容について、眺めがいいものなどは載っているが、携帯がつながる・つながらないが詳細に載っていない。安全にかかわる情報はぜひ出してほしい。</p>	(要望)	-	<p>現在、秦野市観光協会が作成している丹沢登山ガイド等のパンフレットには、山小屋や休憩スポット等における携帯電話通話利用の可否についての記載はありません。</p> <p>もともと、登山者において携帯電話が通じると、便利なことは多く、なにより、非常時に連絡できるという心強さを与えてくれる手段であることは言うまでもありません。</p> <p>他にも、テント場や山小屋で、明日の天気を調べたり、日々の無事を家族に知らせたりなど、携帯電話は、安全登山のための重要な役割を担っていると考えられます。</p> <p>しかし、各携帯電話会社で電波エリアが異なることや、特に山岳地帯では地形や気象条件によっても日々差異があることもあり、はじめから携帯電話に依存しての山行は避け、状況に応じて利用することが望ましいと考えます。また、携帯電話の通話エリアの情報発信については、一義的には各携帯電話会社が担うべきものであると考えます。</p> <p>観光協会は本市観光振興のソフト面を担ってはいますが、人の生命にもかかわる重要な情報を確実性の低い中で、登山マップ等で提供することは、難しいと考えます。</p> <p>本市でも、秦野市遭難対策連絡協議会が中心となり、登山者に登山行程や氏名、連絡先などを記入する「登山者カード」の記入を促すキャンペーンを行っておりますが、今後も不慮の事態に備え、登山道の看板を整備するなど、安全向上に努めてまいりたいと考えております。</p>	観光課

6	<p>秦野中井インターの先の駐車場について、利用しようとしたところ、満車だった。送迎だったからよかったが、駐車場に停めようとしてたらバスに間に合わないと思われる。センサーをつけるなりして、駐車場の状態に関する情報はほしい。いってみないとわからないというのは問題。</p>	(要望)	-	<p>東名秦野バスストップには、高速バス3系統に加え、新たに夜行高速バス6系統が停車していることから、東名秦野バスストップの利用者が増加傾向となっております。</p> <p>このような状況の中、現在22台の高速バス利用者用駐車場がありますが、利用時期によっては、満車となっていることも認識しております。</p> <p>御意見がありました、高速バス利用者用駐車場の利用状況に関する市民への情報提供については、高速バス利用環境の改善に向け、今後の施策の参考とさせていただきたいと考えております。</p>	公共交通推進課
7	<p>市長のビジョンについて、聞きたい。</p> <p>いい意味での田舎でありたい。と言っていた。婦人会60周年の祝辞でもいい田舎でありたい、と言っていた。市議の時も言っていた。いい意味での田舎について具体的なお話を聞きたい。</p> <p>西地区のまちづくり事業の中で最も力を入れていきたいことを聞きたい。</p> <p>複合施設の計画が進行中だが、施設が完成した後、どのような期待をされているのか。</p>	<p>市長になったときもいい意味での田舎っぽさを残したまちづくりをしたいと言いましたが、豊かな緑、おいしい水、すがすがしい空気というのもあるが、人と人とが触れ合うことができるまちにしていきたいと思います。</p> <p>秦野のまちづくりの核になっているのが、小田急線の4つの駅という気がしています。すべての駅で急行が停まり、通勤通学する人が乗換しないで新宿に出られます。駅まで歩いて通勤通学できる人がどのくらいいるか調べたところ、64%の人が該当しました。秦野はコンパクトシティで箱庭みたいなまちといわれます。西地区においては、新しい道路も出来、バスも通り、北地区と西地区が近くなったと思います。国が言わなくても秦野はコンパクトでネットワークのいいまちだと感じています。その中で、246バイパス、新東名、スマートICも完成すると、西地区は交通の便がいいまちになり、発展につながると思っています。</p> <p>複合施設については、苦しいですが、次の時代のためにやるべきことはやっていきたい。震災の復興という中で、日本全体で建設することにお金がかかる時代になったが、知恵を絞り、地域と話し合いをしながら進めていきたいと考えております。</p>	市長		

8	<p>ごみ減量通信で、デスポーザーの設置補助を始めると記載されている。高齢者にとっては、ゴミ出しの手間が減るし朗報だと思う。しかし、苦しい財政であるのは否めない中で、この事業を無期限にやっていくのか。期間限定でやっていくのか見解を聞きたい。設置補助の対象ゾーンも聞きたい。</p>	<p>デスポーザー設置補助の対象区域については、酒匂川の方へ傾斜している地域は、対象外であり、それ以外の浄水管理センター区域については対象となっています。それ以外の部分については、後日担当部署より回答いたします。</p>	<p>下水道施設課長</p>	<p>デスポーザー設置に対する補助制度は、現行の生ごみ処理機購入費補助金の枠組みであり、下水道事業会計ではなく、一般会計で行うものです。</p> <p>また、この補助制度については、平成28年度までは継続し、それ以降については、実績等を踏まえて、平成29年度からの秦野市ごみ処理基本計画の中で、制度の実施について検討します。</p> <p>次に、設置区域についてですが、直接投入式デスポーザーは、現在、本市中央処理区のみ設置可能となっています。それ以外の大根・鶴巻処理区と西部処理区については、デスポーザーと併せて排水処理装置が必要になります。</p> <p>今後は、市民の皆様が地域を選ばず設置できるよう大根・鶴巻処理区、西部処理区の下水道管理者である伊勢原市と神奈川県に設置を認めていただけるよう要望を続けます。</p>	<p>環境資源対策課 下水道総務課</p>
---	--	--	----------------	--	---------------------------

9	<p>週に1回ごみを拾っているが、たばこのポイ捨てが多い。秦野市全域でそうなのではないか。たばこ祭りは先人のために感謝する祭りだと思うが、マナーの啓蒙をする祭りにしてはどうか。アイデアとして、有名なデザイナーとコラボした携帯灰皿をつくって販売してはどうか。たばこ祭り限定で販売するなども考えられる。</p>	(要望)	-	<p>要望として参考にさせていただきます。</p>	環境資源対策課
10	<p>保育園の育休退園について聞きたい。所沢市で問題になったが、秦野市でもやっているというのが驚きだった。該当した人の反応はどうだったのか。現状を知りたい。</p>	<p>秦野市でも0～2歳の子どもは退園という形をとっています。母親が育休で家にいるので、子供を見ることができる状況にあります。自宅で保育していただくことで、待機していた児童を入れることができます。一方で、退園によって友人関係や先生との関係がなくなってしまう、お子さんの環境も変わってしまいます。また、一度退園すると、再入園が難しいなど、両方の意見がありますが、市としても検討をしていき、近々方向性を示したいと考えております。</p>	保育こども園課長	<p>本市では、保育所等に入所中の園児が0歳～2歳の場合で、保護者が第2子以降を出産し育児休業を取得したときに、保育所に入所している上の子について家庭での保育を念頭に退所していただいていた。子育て支援の観点から保護者の意向を踏まえ平成27年8月からこの取扱を見直しました。 見直し後は、入所中の園児が0歳～3歳児までは、保護者が育児休業を取得し、1年後に職場復帰することを前提に「生まれた下の子が1歳になるまで」は入所を継続できることといたしました。なお、4歳児以上は従来から継続して利用できます。</p>	保育こども園課

11	<p>ヤオマサがある道について、車いすの方、杖をついて歩いている方が結構多い。ベビーカーを押す人も通っている。歩道がまっすぐならいいが、斜めになっている。車いすだと怖いという声を何人も聞いた。セットバックしたところとしてないところなど色々ある。人の擦れ違いもできない。タウンニュースで歩道を平らにして、色を分けて通りやすくしているという記事を見た。この道が整備計画の中に入っているのか。</p>	<p>該当の道は、昭和45～46年にかけて一次改良工事を実施しました。その後平成8年に幅員9メートルと計画し、両側歩道として1.75メートルを計画して整備していますが、平成16年に地権者に個別に歩道設置について意向調査をしたところ、一回下がっている、駐車場ができない、商売ができなくなるなどの意見がありました。現在の歩道計画については、建物を建てたりする時に用地の協力をお願いし、少しずつでも整備している状況にあります。今後については、バリアフリーに対応した整備ができないか、これから検討していきたいと考えております。</p> <p>緑色で塗ったイメージ歩道についてですが、本来であれば歩道を作っていくのが基本ですが、できない場合はイメージ歩道で整備しています。</p>	<p>建築住宅課長</p>	<p>市道816号線の歩道整備については、説明のとおり土地利用計画(建替え等)が生じた際に用地の協力をお願いし整備を進めるような手法により、継続して行っています。</p>	<p>道路整備課</p>
----	---	---	---------------	---	--------------

12	<p>総合計画の基本政策に「良好な子育て環境の整備、子育て世代への支援の推進、子ども子育て支援新制度による、社会全体で子育て世代を支援する取り組み」と書かれているが、秦野市で、来年再来年にどういう方向性なのか具体的なものを1、2例上げて頂きたい。</p>	<p>子ども子育て支援新制度が4月に始まりました。秦野市では、子ども子育て支援事業計画も策定しました。その中の取り組みですが、保育所では、待機児童の解消のための量の確保に取り組んでいきます。計画を作るにあたり、ニーズ調査を実施し、利用したい人がいつでも利用できるような体制を作っていきます。また、ぼけっと21を整備していくという計画もあります。保育所を卒業すると入ることになる、児童ホームについても教育委員会と協力しながら整備していきます。このような色々な取り組みをしながら、子育てしやすいまちにしていきたいと考えております。</p>	<p>保育子ども園課長</p>	<p>少子化や女性の社会進出による保護者の就労形態の多様化などを背景に、子育てしやすい社会の実現に向け、本年4月に本格的にスタートしました「子ども・子育て支援新制度」は、社会全体で子育て世代を支援する必要があることから、「保育の量的拡大・確保」、「質の高い幼児期の学校教育・保育の総合的な提供」や、「地域の子ども・子育ての充実」を図ることを主な柱としております。</p> <p>「子ども・子育て支援新制度」への円滑な移行を図り、その支援施策を総合的かつ計画的に行うため、市民ニーズを踏まえて策定いたしました「秦野市子ども・子育て支援事業計画」は本年度から平成31年度までの5年間を計画期間とした事業計画となっており、この計画に基づき、「安心して子どもを産み、喜びと責任を持って子育てができるより良い環境づくり」を目指し、実効性のある施策に取り組んでまいります。具体的には、認可保育所の定員拡大や放課後児童ホームの環境整備の充実などに取り組んでまいります。</p>	<p>保育子ども園課</p>
----	---	---	-----------------	---	----------------